



■ 日本木材学会大会で発表します

3月27日(水)～29日(金)、岩手大学教育学部ほか(盛岡市)にて第63回日本木材学会大会が開催されます。

林産試験場からは次の16件を発表します。

<口頭発表>

- ・過度の高温セッ処理を施したトドマツ正角材の内部割れと強度性能(戸田正彦ほか)
- ・心理学を取り入れた北海道産針葉樹材内装材の好ましさの評価(松本久美子ほか)
- ・腐朽柱脚接合部位を接合金物で補強した場合の性能その2:ビス一本当たりの引抜・せん断性能(野田康信ほか)
- ・住宅構造部材として長期間使用された合板の性能評価(3)-促進劣化試験と実用環境での曲げ・面内せん断性能の低下-(古田直之ほか)
- ・地域材を用いた木製遊具の経済効果～北海道釧根地域における事例分析～(古俣寛隆ほか)
- ・製材残材の燃料利用による化石燃料代替効果と環境負荷低減効果の検証(石川佳生ほか)

<ポスター発表>

- ・北海道産人工林材を活用した単板集成材の開発(6)-曲げ・せん断・めり込み特性-(大橋義徳ほか)
- ・北海道産人工林材を活用した単板集成材の開発(7)-劣化処理が力学特性に与える影響-(古田直之ほか)
- ・北海道産人工林材を活用した単板集成材の開発(8)-長期荷重が曲げ特性に与える影響-(松本和茂ほか)
- ・ペット共生型住宅のための木質系床材の開発(第2

報)浮造りされた針葉樹床材の表面性状と性能について(松本久美子ほか)

- ・芳香性木質材料を用いた家具の人体への影響の検証(秋津裕志ほか)
- ・数種の木質材料における吸放湿性能の検討(朝倉靖弘)
- ・試料負荷率が木質材料のアセトアルデヒド放散に与える影響および実大空間での測定(鈴木昌樹ほか)
- ・カラマツを利用した菌床シイタケ栽培-チップダスト、きのこ廃培地の混合-(原田陽ほか)
- ・太陽熱を活用した木質系バイオマス燃料の乾燥(山田敦ほか)
- ・北海道産樹皮の新たな用途の創出に向けて-カラマツおよびトドマツ樹皮の成分組成-(折橋健ほか)

■ 日本木材学会「技術賞」を受賞します

性能部 宮内輝久研究主任と企業支援部 森満範研究主幹が「第14回日本木材学会技術賞(2012年度)」を受賞します。

受賞課題は『効率的かつ高精度な木材保存剤の定量分析技術の開発』です。これは、これまで困難とされてきた保存処理木材に含まれる有効成分量の測定において、“固相抽出法”と呼ばれる手法等を用いて、より迅速、正確に測定できる定量分析技術を確立したものです。この技術が、すでに優良木質建材認証制度(AQ認証)や企業の品質管理等に活用されるほか、日本農林規格(JAS)の認定試験への採用が予定されるなど、研究実績と社会貢献度の高さが評価されました。

3月28日(木)、第63回日本木材学会大会の会場(盛岡市民文化ホール)で表彰式が行われます。

林産試だより

2013年3月号

編集人 林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人 林産試験場
URL: <http://www.fpri.hro.or.jp/>

平成25年3月1日 発行
連絡先 企業支援部普及調整グループ
071-0198 北海道旭川市西神楽1線10号
電話0166-75-4233(代)
FAX 0166-75-3621